
樹海空間フレンド

麻栗留音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

樹海空間フレンド

【Nコード】

N3243Y

【作者名】

麻栗留音

【あらすじ】

僕は宇宙の中に在る。そして宇宙は僕らの中に在る。無意味の文字を無意味に羅列したクソみたいなもの。生きるためにはクソは出る。

僕は学校とバイトの両立に疲れ果てて僕の部屋で友達たちが思い思いの落書きしていった折り畳み式テーブルに腕を投げ出し、角度があまりしっくりこない位置にしか固定されない惜しい座椅子に胡坐をかいて、遠方の女子高で開かれた美術の講習会でタイトルの意味が解らないと真面目な顔で講評され共に参加した同部活の友2名にクスクスのに爆笑された「プルコギ」というマーヴェリング作品を口を軽く開けっ放しにしながらただ、見つめていた。なんで「プルコギ」なんて題名を付けたんだろう。その時はマーヴェリングの交ざり合う赤や緑や茶色やらの色が韓国的に見えて、これはプルコギってタイトルにしたら意味深で良いんじゃないかと内心ほくそ笑んで一緒に参加した他2名の友とは少し違った独特の感性でオンリーワンを主張したつもりだったのに、ひとり白い壁紙に画ビヨウで四隅を打たれたただ目の前に張り付けたそれを無音の中で眺めていると、プルコギっていうタイトルがクソだなんて思うしそれを自信満々で命名した自分がクソだなんて思う。僕の目の前の無機質に白い壁紙にただ張られてある、赤や緑や茶色がグッチャグチャに交ざり合った紙が、こうやってじっとして疲労感で体が動かなくて風呂に入りに行きたくても体を持ち上げるのが億劫でもうこのまま座って寝入りたい状態の頭で眺めていると、なんだかこのメチャクチャな色の渦の中に自分が吸い込まれて色と溶け合い、すごく自由な世界へ解放されるんじゃないかと変な妄想がわいてくる。プルコギ、なんでこれがプルコギなんだろう。なんでこれを作った時はあんなにプルコギだったんだろう。そんな数日前の記憶をグルグルと回していると、その回る記憶に合わせて友達たちが悪ふざけで落書きをしていた折り畳み式テーブルに描かれた変な絵たちが立ち上がり、僕の記憶と一緒に輪を描いて踊り始めるような予感を感じて焦った。なんか太った超絶にブサイクな女とか、露骨に悪意を感じる程精密に

描き込まれた女性器とか、手抜きのマッチョマンとか、そこにあった消しゴムの正確なデッサンとか、統一性の欠片も無い煮込み過ぎたわけのわからなくなった闇鍋のような落書きが僕のループする記憶の輪の上で何か変な踊りを踊りだすような錯覚があった。踊りに合わせて滑稽な祭囃子が鳴り始めて頭の悪い落書きたちがクネクネとしたふざけた踊りを踊り狂いながらなんか騒いでいる。僕はどつと疲れてきて、もう学校とバイトなんてどうでもいいやとか割り切り始めて落書きたちと一緒に踊り出す。するとなんだろう、今まで経験した事の無いような解放感で、僕を縛り付けているありとあらゆるものが鋼鉄の鎖のようにガキンツと金属音を響かせて砕け散り、僕の上下を包み込むスウェットがバリバリバリィツと自然の力で粉々に破かれ去れ、すっぽんぽんになって僕はクソみたいな落書きたちと一緒に虹の輪の上を踊る。くねる無数の落書きたちと揺れる僕のポッコチンがこれ以上無いといったような自由な空間を創り、しがらみから解放されて歓喜の涙を流しまくる僕らを遠巻きに眺めていた背中に翼のある裸の子供たちがニコニコ笑いながら走り寄ってきて、自然と僕らの輪に加わり両手を高らかに上げ、足を無邪気にばたつかせて楽しそうにダンスを踊る。運命共同体となった僕達を邪魔するものは何もなく、ただひたすらに涙と笑顔とうねりを出しながらうごめく僕達の輪の中心に岩石や小石やスペースデブリが集まり始め、ひとつの新しい惑星が生まれてしまったのだ。とても若い、青春の鼓動に満ち溢れた、血気盛んで眠る事をせず走る若い星、これから幾多の生命の母になり悠久の永遠と膨大な巨大を生まれては死に生まれては無にを繰り返して逞しく成長してゆくこの若い星を、生まれたままの姿で感涙の涙と歓喜の声を上げる僕とクソみたいな落書きと天使が祝おう。君は僕らの友達だと、僕らは両手を開いて歓迎しよう。そしてこの青く輝く生命で溢れた奇跡の星を名付けよう。プルコギと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3243y/>

樹海空間フレンド

2011年11月12日07時20分発行